

令和4年度 自己点検・自己評価報告書

1.教育理念・目的・育成人材像

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【1-1】教育理念、目的、育成人材像		評価
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	A
1-1-2	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	A
1-1-3	社会のニーズ等に踏まえた将来構想を抱いているか	A
《現状・課題・改善案》 今年度も理念に沿った人材育成を行うことができた。 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法は、各課、チーム、委員会、プロジェクト等で定められ着実に実行されている。 教職員への周知は、経営ビジョン発表会、月間キャンペーン等で定期的に確認。学生に対しては改めて確認をすることはないが、日々の指導の中で都度周知されている。 達成に向けてはそれぞれのコースで授業内容や評価方法等を工夫し、学生が目標に近づけるよう努めている。社会人としての基礎知識を身に付けられる授業を組み込んだこともその一つである。 中期的な構想としては「日本語学校の学校法人化」を掲げて学校運営を行っている。		

2.学校運営

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【2-2】運営方針☒		評価
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	A
《現状・課題・改善案》 運営方針は、理念や目標を踏まえ明確に定められている。 また、教職員に対しては経営ビジョン発表会、経営会議等で周知している。		
点検中項目【2-3】事業計画		評価
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	B
《現状・課題・改善案》 中期事業計画（3～5年程度）についてはある程度定められているが、単年度の事業計画の策定については今後の課題といえる。但し、グループ法人の医療人材国際交流協会では毎年度の事業計画に基づいて事業を展開している。 業務分担については明確になっているところもあるが、全体としては部署の垣根を超えて協力し合うことを重視している。次年度は業務分担を明確にし、それぞれで数値目標を設定し、教職員が生産性を意識しながら業務を遂行できるようにしていきたい。		
点検中項目【2-4】運営組織		評価
2-4-1	学校運営のための組織を整備しているか	B
《現状・課題・改善案》 管理運営の諸規程については徐々に整備されつつある。特に、就業規則については都度見直しを行いながら、改正した場合は遅滞なく届出を行っている。 意思決定は、経営企画室会議、経営会議にて組織的に行われている。 予算編成は適切に行われていると言えるまでには至っていないが、年間を通しての見通しや資金繰り、賞与を重視した内容でキャッシュフローを作成。経営ビジョン発表会にて教職員へ提示し、見える化を図っている。 業務の見直し及び効率的な運営の検討は概ねできているが、業務量のバランスが取れるように次年度も引き続き検討を重ねていきたい。		

点検中項目【2-5】人事・給与制度		評価
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>採用基準は明確化し適切に運用している。</p> <p>採用広報も適切に行っているが人員不足の部署もあるため、今後は中・長期的な採用計画を立て、それを基に募集活動を行う必要がある。</p> <p>今年度はステージ制度について教職員全体で考える機会を設けた。</p> <p>期待されている役割を理解するとともに、多様化する業務に対して各自がどのように取り組めるかが次年度のポイントとなる。</p>		
点検中項目【2-6】情報システム		評価
2-6-1	情報システムに取組み、業務の効率化を図っているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>学生管理システムを構築し、除籍、退学、学籍延長等の重要事項もタイムリーに更新している。</p> <p>また、学生指導においても最新情報を活用することで業務の効率化を図っている。</p> <p>システムは定期的にバックアップを行い緊急時に備えている。今後はWSDBシステムの導入が必要。</p>		
点検中項目【2-7】入国、在留に関する管理		評価
2-7-1	入国、在留に関する管理、指導、支援が適切に行われているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>入管事務担当者は、研修を受講する等により最新かつ適切な情報取得を継続的に行っている。</p> <p>また、入管法上の留意点については、オリエンテーションや委員会活動を通して学生へ周知している。</p> <p>今年度もオーバーワークの学生が発生したため、次年度は更に点検・指導を強化していきたい。</p>		

3.教育活動

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【3-8】目標の設定		評価
3-8-1	クラス毎に到達レベルを明確にしているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>クラス毎に毎月の目標を設定し、担当教員と学生の双方に共有している。但し、教員間の共有が不十分なコースもあるため改善を図りたい。</p> <p>到達レベルを定めて教育を行っているため概ね理念に適合していると言えるが、理念に絡めた授業展開は行っていないため、この点は今後の課題である。</p> <p>資格・免許の取得を目指すクラスにおいては、学生が目指す進路にはどのような試験があるのかを入学前面接の際から周知している。入学後も試験のスケジュールを提示するとともに、デジタルツールを使った対策授業を行うなどのフォローを行っている。</p>		
点検中項目【3-9】教育方法・評価等		評価
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>コース毎に教育目標達成のためのカリキュラムが編成されている。</p> <p>学生のレベルと資格を取得するために必要なレベルの双方を鑑み、アンケートを実施したうえで学生のニーズに合った授業を展開している。</p> <p>また、教員を対象とした勉強会を開催し、授業内容の向上に努めている。</p> <p>カリキュラムは年度末に振り返りを行い、合格率などの反省を踏まえた改訂を都度行っている。</p>		
点検中項目【3-10】クラス運営		評価
3-10-1	学生に合ったレベルでクラス編成を行い、クラス運営を適切に行っているか	A
3-10-2	授業評価を実施しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>入国前のオンライン面談とJLPT既得級によってクラス編成を行っている。また、コースによっては入国後にプレイメントテストを実施している。</p> <p>レベルの設定は、CEFRの評価項目を参考として4技能バランスよく評価し、「使う日本語」を意識している。また、JLPT既得級を中心として、特定技能クラスはJFTも参考にしている。</p> <p>担当するクラスの学生情報は、日々の引継ぎやクラスミーティング等で担当教員とも共有している。</p> <p>教員の授業内容を評価する体制はできていないが、一人一人の教育能力の向上には力を入れた。</p> <p>具体的には、勉強会や授業見学の期間を設けることで、専任・非常勤を問わず教員同士が互いに授業の感想を言い合える機会ができ、授業運営のヒントを得ることができた。</p> <p>更に、学生に対して、カリキュラムや授業内容に関するアンケートも実施した。</p>		

点検中項目【3-11】 成績評価		評価
3-11-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>各段階でレベル修了テストを行い、統一した判定基準で成績評価を行っている。但し、判定基準は学生に明示されていない。</p> <p>成績判定結果については、学期末毎にコメントを添えた成績表を発行している。</p> <p>成績評価の基準に関する会議などは開いていない。記述問題などは統一性を図る必要があるため、今後勉強会などを開催する必要がある。</p>		
点検中項目【3-12】 資格・免許の取得の指導体制		評価
3-12-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	A
3-12-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>資格・免許の内容・取得の意義等については、選抜面接、入学前面接、入学後のオリエンテーションなどで説明している。</p> <p>JLPTと国家試験は試験対策がカリキュラム化されている。特定技能はデジタル教育ツールと対策授業のスケジュールについて周知している。</p> <p>特定技能介護試験のデジタル教育ツールは、介護実務者研修修了者および初任者研修修了者が整備と管理を行っている。看護師国家試験については、ほぼすべての教員が看護師経験あり。</p> <p>特定技能介護の不合格者に対しては、担任を中心に指導を行う。就職コースは就職支援課と連携を密にする。看護師国家試験不合格者は、准看護師支援制度を用いて卒後も支援を継続している。</p>		
点検中項目【3-13】 教員・教員組織		評価
3-13-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A
3-13-2	教員の組織体制を整備しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>文化庁が求める日本語教員の要件、告示基準に沿って採用条件を定め、ホームページ、募集要項等で明文化している。</p> <p>コース毎に各教員が必要な知識や能力の習得に努めている。但し、教育目標達成のため、教員に求める必要な知識、能力及び資質についての具体的な明示は行っていない。</p> <p>採用人事については、募集から面接、採用までの流れは構築できているが、明文化された規程等はない。昇格措置はステージ規程において定められている。</p> <p>コース毎のミーティングで授業方法や内容について共有し、問題点があれば解決策を検討している。</p> <p>また、学生による授業評価アンケートを実施しているコースもある。</p> <p>教員間における連携は、適宜クラスミーティングを行うことで、授業の振り返りや問題点の共有・解決方法の検討を行っている。</p>		

点検中項目【3-14】教員及び職員の資質向上		評価
3-14-1	教員及び職員の資質向上への取組を行っているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>教職員の教育、研修等はコロナ禍により十分に実施できなかったため、次年度は改善が必要。年間計画を立てて実施していきたい。</p> <p>介護クラスについては、介護福祉士養成校と定期的に情報交換を実施している。また、病院や介護施設とは、事務部会や看護部会、介護部会などの各種会合や、定期的な訪問を通して適宜情報交換を行っている。その他は、関連業界との連携は積極的に取り組めていないところもある。</p> <p>自己啓発活動として教員が外部の研修に参加する場合は学校が補助を出しているが、積極的な啓蒙はできていない。</p> <p>今後は、広報活動や営業に関わる活動等についても適切に評価を行い、全員営業に取り組むモチベーションの向上させる必要がある。</p>		

4.教育成果

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【4-15】成績・試験結果		評価
4-15-1	成績、試験結果の管理をし把握しているか	A
《現状・課題・改善案》 レベル修了テストの結果はアクセスで保管、管理している。課テストや模試、その他クラス内で行われる小テストの結果は担任がグーグルドライブで保管、管理している。 日本語能力試験の結果は、担任が共有サーバーにて保管、管理している。 学生の評価をcandoリストで把握しているクラスとそうでないクラスが混在しているため、今後は統一していく必要がある。		
点検中項目【4-16】就職支援		評価
4-16-1	就職目的の学生の支援ができてるか	A
《現状・課題・改善案》 学生の就職活動については常に学生と連絡し把握できている。 定期的に各種採用セミナーを実施し、就職先の開拓に努めている。 課題としては、就職した卒業生が学校に報告なく退職や転職の希望を出すような案件があるため、就職先との信頼関係に影響が出てしまうケースがある。今後は、オリエンテーション等で更に周知・徹底してこのような事案を減らしていきたい。		
点検中項目【4-17】卒業生の社会的評価		評価
4-17-1	卒業生の進路、社会的評価を把握しているか	A
《現状・課題・改善案》 卒業後もアフターフォローを継続しているため、進学先や就職先と緊密に連携し情報共有を行っている。 また、就職した学生については、就職後の面談や雇用状況の調査を行うなかで、何かあれば相談を受けられる体制を作っている。		

5.学生支援

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【5-18】進学・就職指導		評価
5-18-1	進路に関する支援組織体制を整備しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>進路説明会及び個人面談を通して学生が希望する進路を把握している。</p> <p>また、進路説明会用の資料の整備、求人票の掲示、進学棚の設置など、学生が自由に閲覧し最新の情報を得られる環境を整えている。</p> <p>教員と就職支援課による会議を月2回開催し、情報の共有と意見交換を行っている。</p> <p>面接に臨む学生に対しては履歴書の書き方を指導。面接練習を実施するとともに、服装やマナーを教育する「総合授業」も行っている。</p>		
点検中項目【5-19】中途退学への対応		評価
5-19-1	退学率の低減が図られているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>退学の要因、傾向、退学者数は把握しており、学生からの相談も随時受け付けている。</p> <p>過去には指導経過記録が保存されていない事案もあったが、現在は共有記録として管理フォルダに保存するよう徹底されている。</p> <p>退学の低減に向けた取り組みとしては、生活面や学習面で問題がある学生とはSNS等で繋がる工夫をしたり、好転しない場合は母国の保護者に対して状況を報告するなどの対応も行っている。</p>		
点検中項目【5-20】学生相談		評価
5-20-1	学生に対する相談体制を整備しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>学生からの相談に対しては学生課の職員で国籍別に対応している。中国語、ベトナム語、モンゴル語のほか英語での面談・対応も可能となっている。</p> <p>留学生活に関するオリエンテーションは入学直後に実施している。また、日常生活に関する個別の質問にも丁寧に回答している。</p> <p>日本社会を理解し適応するために、授業においては社会人マナーの教育を行い、課外ではボランティア活動を通して地域と交流する機会を設けている。</p>		

点検中項目【5-21】 学生生活		評価
5-21-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	A
5-21-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	B
5-21-3	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	A
5-21-4	日本の文化やマナー等を教育する取組を行っているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>独自の奨学金制度を整備している。</p> <p>入学前には奨学金支給申請書と母国語の契約書、卒業時は奨学金の返済に係る覚書を締結している。</p> <p>アルバイト（資格外活動）における違反行為についてはオリエンテーションで指導している。</p> <p>また、アルバイト先はそのまま就職に繋がる可能性もあるため、企業開拓の挑戦は続けている。</p> <p>オーバーワークの注意喚起は、委員会を中心に長期休み前の時期に重点的に行っている。</p> <p>感染症発生時、特に新型コロナウイルス感染症の罹患者が発生した場合の措置や住居を含めた隔離体制等は整っている。併せて、近隣の医療機関と連携し、有事の際の備えは出来ている。</p> <p>全学生が国民健康保険に加入。また、自転車賠償保険にも加入している（短期留学生を除く）。</p> <p>学生寮は整備されており、定員数や充足状況の管理、委託業務等は総務課にて明確に管理されている。</p> <p>また、寮生への生活指導は担任教員を中心に行っている。</p> <p>日本文化を体験する授業を年1～2回程度実施している。対面授業ができなかった時期もzoomで参加できる内容で行った。</p> <p>犯罪を犯さない、また犯罪に巻き込まれないための指導として、警視庁職員による犯罪防止講習を全学生対象に開催している。交通安全や日常生活上のマナーに関する指導は、GWや長期休みを迎える前に交通安全ビデオや啓発ポスター等を用いながら徹底した。</p>		

6.教育環境

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【6-22】施設・設備等		評価
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	B
《現状・課題・改善案》 図書室はグループ校に設置しているもののほとんど活用されていない。また、図書やメディアは学生数に対応できるだけの取り揃えではないため、今後整備が必要。 視聴覚教材やITを利用した授業を行うための設備として、プロジェクターやタブレットPC、オンライン授業用のアプリ等は整備されている。 学生が授業時間外にも使用できる自習室は整備できている。 また、各教室の照度や換気、遮音性は授業に必要なレベルで確保されている。 衛生面では各所にアルコール消毒を、手洗い場にはペーパータオルを設置している。 施設の定期点検も実施されており、補修も適切に行われている。		
点検中項目【6-23】防災・安全管理		評価
6-23-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	B
6-23-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	B
《現状・課題・改善案》 地震災害発生時の行動マニュアルは整備できている。 また、避難方法、避難経路、避難場所を定めて、年1回全学で避難訓練を行っている。 消防設備の整備や保守点検は法令に基づき適切に行われている。 備品の転倒防止などの安全管理は徹底しているが、設備の入替等で完了してない箇所がある。これについては早急に対応をする。 学校安全計画及び防犯体制は整備できていない。また、授業中に発生した事故や気象警報発令時の措置も定められていない。 今後、様々なケースを想定したマニュアルを作成し、更に安全管理体制を強化していきたい。		

7.学生募集

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【7-24】入学者の募集と選考		評価
7-24-1	理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	A
7-24-2	機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	A
7-24-3	教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	A
7-24-4	海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	B
7-24-5	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A
7-24-6	学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者（職員等）が面接などの調査を行うよう努めている。	A
7-24-7	入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	A
7-24-8	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	A
7-24-9	関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されている。	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>年間募集計画を策定している。</p> <p>入学希望者に対しての説明会、面談、入学相談等は適切に行われている。</p> <p>教育内容、教育成果、学校情報を示した募集要項は最新かつ正確な内容で、各国籍別に翻訳したものを配布している。</p> <p>海外の募集代理人（エージェント）に対しても最新かつ正確な情報提供は行えているが、現地での募集活動は委託しているため、適切に行われているか十分に把握できていない。</p> <p>入学検定料、入学金、授業料、寮費などの納付額及び納付時期は募集要項に明示している。</p> <p>また、学費等の返還規定も関係諸法令に基づいたもので、募集要項で公開している。</p>		

8.財務

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【8-25】財務基盤		評価
8-25-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	A
8-25-2	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	A
《現状・課題・改善案》 応募者数、入学者数、及び定員充足率の推移は把握できている。 収支のバランスは取れているが、引き続き資金繰りが課題となっている。 必要に応じて順次設備投資を行っているが、過大にはなっていない。 最近3年間の収支状況による財務分析、キャッシュフローの状況を示すデータの作成を行い、経営会議等を通して全教職員へも情報共有はできている。 財務改善計画は専門家に意見を聞きながら5か年計画策定している。		
点検中項目【8-26】予算・収支計画		評価
8-26-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	A
8-26-2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B
《現状・課題・改善案》 グループ法人の医療人材国際交流協会では予算案を策定している。 新日本学院では予算が出しにくい状況にあるため、現状は策定していない。 年度における経営ビジョンや方針を教職員に浸透させることに重きを置いている。 キャッシュフローや収支、支出については見える化し、周知する取り組みを行っている。 監査報告書の作成、及び監査での指摘事項についての対応は適切に行われている。		

9.法令等の遵守

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【9-27】関係法令、設置基準等の遵守		評価
9-27-1	法令や設置基準を遵守し、適切な学校運営を行っているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>学校運営は「日本語教育機関の告示基準」を順守し、条件を満たしている。</p> <p>学則、就業規則、給与規程等の主要な規程は整備され、適切に運用されている。</p> <p>教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みは今年度から開始。併せて、法令遵守に関する研修・教育も開始した。</p> <p>教職員の相談窓口は次年度設置する予定であるが学生のものは無い。</p> <p>東京出入国管理局への各種届出は遅滞なく行えている。</p>		
点検中項目【9-28】個人情報保護		評価
9-28-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>個人情報保護については、就業規則第60条（個人情報管理義務）に定めている。</p> <p>個人データを蓄積した電磁記録の取扱いについては、就業規則第54条（パソコン等の使用上の順守事項）に定めている。</p> <p>Webサイトの情報漏洩の防止策（SSL化）は昨年度実施をしたが、十分とは言えない状況である。</p>		
点検中項目【9-29】学校評価		評価
9-29-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	A
9-29-2	自己評価結果を公表しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>今年度は委員会を設置し、全学で取り組むように改善された。</p> <p>昨年度の評価結果を基に学校改善への取り組みも順次行っている。</p> <p>具体的には年度内で中間報告会と最終報告会を開催し、進捗情報の発表を行っている。</p> <p>3月中に法人内での取り纏めを行い、4月宙に外部への公表を行う。</p>		
点検中項目【9-30】教育情報の公開		評価
9-30-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>ホームページ、各種チラシ、SNS等で公開している。</p> <p>新たな広報担当者により、今後更に積極的に情報公開が図られる予定である。</p>		

10.社会貢献・地域交流

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【10-31】社会貢献・地域貢献		評価
10-31-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A
《現状・課題・改善案》 近隣にある都立福生高等学校と定期的に交流を行っている。 教職員と学生で週1回程度の地域清掃活動も行っている。 例年、地域住民にも参加頂けるような催し（多文化共生フェスティバル）を行っているが、今年度もコロナにより対面での開催は見送った。次年度は対面での開催を検討し交流の場を作りたい。		
点検中項目【10-32】ボランティア活動		評価
10-32-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A
《現状・課題・改善案》 ボランティア活動は、教職員で構成されている委員会が窓口となり、周知、募集、取りまとめを行っている。今年度は福生市の植栽ボランティアに参加。今後も積極的に参加していきたい。 活動の様子は写真や動画をSNSに掲載したり、広報担当者を通じて随時内外に発信をしている。		